

議会だより



▲QRコードを読み込むと、4年生が作った大踊りの説明動画が見られます。

表紙は語る

おらの村の伝統文化 〜新島の大踊〜

新島小学校4年生が、総合的な学習の時間「おらの村の伝統文化」を学ぶ授業の中で、興味を持ったのが2022年に風流踊としてユネスコ無形文化遺産に登録された「新島の大踊」(2005年重要無形民俗文化財指定)でした。

きっかけは「なぜ、踊り手が減っているのか?」という疑問が沸いたからだそうです。それから成り立ちなどを勉強して学習発表会で成果を発表しました。ただ、それだけでは満足せずに「もっと多くの人に知ってもらいたい」という思いから3月10日(日)に新島船客待合所で体験会を開催しました。会場では衣装の展示・体験や自分たちで制作した映像の上映(QRコード参照)、新島の立地地図や踊り手をモチーフにデザインした可愛いキャラクターが描かれているバックなどが展示され、多くの人で賑わっていました。

(文・写真 富田浩章)

- 2…一般質問
- 9…議長^{アイ}の目ランド
- 10…予算特別委員会
- 12…スピーカーズコーナー
- 12…編集後記

一般質問



前田 寿夫 議員



若郷防災訓練について

一括質問方式

問 昨年10月に避難訓練が実施された。参加者は1131名と、人口の半数にも満たない状況だった。若郷で私が感じたのは、避難所に着くと参加者のチェックを役場の職員だけでやってきた事である。日曜日なので本村の職場に行っている人も全員いたが、もし災害が起きた時間が平日の昼間だったら、若郷支所の1名か2名での対応となるので

は？

普段から町会（住民）と一緒に仕事の役割を決めておいたほうがよいのではないか。住民の意識を上げるためにも、協力し合って行動することが必要かと思う。

答

平成26年から現在まで、コロナ禍または雨天中止などあったが、参加者の割合はおおむね50%以下で推移。昨年が特別少ないということではない。

参加人員については、今後100%を目指すため、何が必要か検討を進めている。現時点で新たな方法、取り組みは決定していないが、決まり次第、防災会議で提案し進めていく。

昨年の防災訓練では、3地区ともほぼ同じ内容の訓練を実施したが、実際に津波災害が起きた時には職員も避難するので、避難場所が自宅に近い職員配置を心

がけている。

津波避難だけで言えば、高台に逃げるのが第一優先であることから、職員や消防団については、安全な避難訓練を行うため黒子的な役割を果たす。住民の協力が必要になるので、今後、避難場所などの行動を整理したうえで、町会を通し住民の皆さんに相談したい。



▲若郷地区の避難場所である若郷防災コミュニティセンター

一般質問とは？

議員が行政に方針や施策、具体的な問題について質問をしたり、政策的提言をしたりすることです。通常は議会の本会議で行われ、質問は予め（本会議の1週間前）提出され、提出順に議員が質問します。議員の権利として希望した議員のみ登壇し、議員ごとに一括質問方式か一問一答方式が選択できます。質問事項の数の制限はありません。（令和3年9月定例から導入）

質問回数
3回まで

一括質問方式

議員が質問事項を一括して質問し、答弁者も一括して答弁を行います。

一問一答方式

質問回数
制限なし

議員が1つ目の質問事項を質問し、答弁者が1つ目の質問事項について答弁を行います。1つの質問が終わったら2つ目の質問をします。答弁者は2つ目の質問についての答弁を行います。

一般質問



おおぬま ゆみこ 議員 大沼 由美子

防災対策・訓練の抜本的な見直し必要性

一問一答方式

問 能登半島大震災後、今もなお復旧には程遠い現状にメディア等では「防災対策の新発想の必要性」がたびたび取り上げられている。災害時に新島村住民の命、財産を守る立場である村長の考えは。

答 災害時の被害軽減には「自助」「共助」「公助」が不可欠である。今回の能登半島大震災では国や県の想定

を大きく超えたため、「公助」の脆弱さが露呈してしまつた。この教訓を活かし「新島村地域防災計画」に反映できるか早急に検討を進める。

問 防災意識の啓発と、より実践的な体験型の防災訓練への転換は。

答 引き続き防災教育・啓発と訓練を実施していく。教育現場でも児童、生徒への防災教育の推進および教員への防災研修も進める。令和7年度の東京都との合同防災訓練のための準備や調整も行っていく。

問 地域の自主防災活動や防災リーダーの育成等が必要では。

答 「新島村地域防災計画」の自主防災活動の強化で明記されているとおり、村は

自治会を通し自主防災組織結成を促していく。

村内の危険廃屋や放置廃車の撤去

一問一答方式

問 新島村は「伊豆箱根国立公園」に属しており、観光業は重要な基幹産業の一つである。観光客を誘致するためにも、また自然災害の二次災害を回避するためにも、島内に点在する危険廃屋や放置廃車の撤去が早急には必要では。長年に渡り放置されている危険廃屋や放置廃車に対する考えは。

答 令和5年度に空き家の現状把握等の調査を行った。その結果を踏まえて空き家バンク制度や定住化対策事業交付金等の活用を含め、空き家対策に積極的に取り組んでいく。

また、放置廃車について、

事業者には仮置き廃車を速切に処分いただくよう働きやかな島外搬出を促し、個人所有地内の危険廃車は適

元日の能登半島大震災では罹災者だけでなく、国民の多くが「自助」へ意識の転換を自覚したと報じられている。

なかでも一時避難所のトイレ状況の阿鼻叫喚、地獄絵図のたびたびの報道に、水や食料と同様に携帯トイレ、簡易トイレ等の非常用トイレを備蓄品に加えることは必須と痛感した。トイレ事情から水分や食料の摂取を控えた結果、体調不良で災害関連死に繋がるといふ。もう呑

気に「公助」だけに頼らず、一人一人が自分の命を守り、命を繋ぎ、そして皆で自分たちの地域を守るといふ強い覚悟が必要だと思ふ。



▲自宅避難生活時の簡易トイレの例。意外と日常生活品を活用可能。ただし、消臭グッズの備蓄は必須！

一般質問



こくほりか 小久保利佳 議員

一問一答方式

新島村も国際交流を！

問 昨年の9月定例会でも同様の質問をしたが、新島村も国際交流を推進してはいかがか？ 新村長の考えを伺う。

答 グローバル化し、地球規模でビジネス展開するのが当然な社会では、特に子供たちにとって、国際交流や多言語学習は非常に大切なものと考えている。今年度は東京都の事業で新島高校から4名がエジプトへ短期留学した。今後、村としても国際交流の機会提供について取り組む考え。

また新島村にいなながら交流の機会を作ることも一つ。昨年、式根島中学校では、はまゆう会のミャンマーからの技術実習生を迎えて国際理解・国際交流の授業が行われた。学生や社会人、観光や経済・文化での交流も含め、幅広い見地から国際交流について考えてみたい。

問 外務省では日本のブランド力強化の面で、外交上の重要なプレーヤーとして地方自治体を考えている。国際的な取り組みを進める地方や地域との連携を強化する各種の取り組みを、外務省も積極的に実施している。継続的に新島村が国際交流をしていく上では、姉妹都市、パートナーシップ、

友好都市につなげていくことも必要ではないか。

答 国際交流の一番重要なことは民間が交流すること。民間主導の中で、ある程度の実績ができ、機が熟した交流が続いた後で形になると思う。まずは地域の交流を促進していきたい。

問 一般社団法人自治体国際化協会（クレア）では国際交流を通じた地域の国際化支援、海外自治体間の交流協力セミナーや地域間国際交流推進事業を実施しているが、対象団体は自治体になる。村が後押しをすることを民間に伝えてもらいたい。新島村と交流を結びたい地域が出てきたら村長も後押しをしてくれるか？

答 国際交流の必要性は十分感じているが、友好町村、姉妹都市、パートナーシップをつないでいくことは別と考える。それなりの関係性が必要。どこと交流するものが必要だと思う。



▲東京都教育委員会主催の多文化共生海外派遣研修として、昨年12月に新島高校1年生3名と2年生1名（当時）の計4名がエジプトに海外派遣された。この事業は多文化共生社会の実現に向けた意識を醸成するとともに、世界的な課題解決に取り組む態度を育成することが趣旨とされる。

一般質問



よし み かず ゆき 議員 吉見 一之



減少し続ける
漁業者に支援を！

一問一答方式

問 新島の漁業の現状は、後継者不足による高齢化に加え、長期にわたる海況悪化により水揚げ高は減少し続けており、特に漁業者の減少は深刻である。後継者不足を少しでも解消するため、最も大きな要因である船舶の維持や漁具に対して行政が支援をしなくてはならないと思うが、村長の意見をお聞きしたい。

答 海水温の上昇等、生態系に大きく影響を受け、イセエビや藻類の水揚げが著しく減少し、漁業者が大変苦慮していることは村でも承知している。

漁業資材や漁具等に対する直接的な支援は、今のところ行っていないが、漁獲物に付加価値をつける取り組みや、イルカの被害被害対策に係る費用等を補助している。

いずれにしても事業者が問題意識をもって取り組み、行政はしっかり支えていくことが重要であり、一丸となって将来を見据えた対策を取り組むことが、今求められていることだと考えている。

問 昨年の定例会でも同じ質問をして、村、漁協、都漁連等による話し合いの場を設ける計画を進めていたが、結局実現できなかった。

かつた経緯がある。大沼村長には早急に進めていただきたい。



存続の危機にある
にいじま農協に支援を！

一問一答方式

問 新島の農業は農地の減少や資材の高騰により、生産高は年々減少しており、農協の経営を圧迫し続けている。このままでは存続も危ぶまれる事態となる可能性が高く、農協の存続は新島全体の経済にも影響が大きい。そのため、行政の支援が必要だと思うが村長の意見をお聞きしたい。

答 農協のあるべき姿は、農家が生産した野菜の販売・出荷の窓口、必要資材の販売や農業アドバイス等の機能を有していることであり、その役割を果たしてもらうためには無くてはなら

ない組織だと思う。今後、役員や専門家と共に方向性を定め、事業計画を策定することと思われるが、村としても指導的立場からしっかりと関与し、将来の農協の在り方も含め検討していきたい。

問 私は新島の農業はまだ十分に成長の余地があると思っっている。そのためにも

農協が必要不可欠であり、今後とも支援をお願いしたい。

ひとつのこと

漁協・農協のような歴史ある団体がなくなることは、新島全体に及ぼす影響が計り知れない。業種を問わず新島全体の問題として、村民一丸となって取り組む必要があると思う。



▲新島産野菜の窓口である、にいじま農協

一般質問



あや とおる 綾 享 議員

問 知らなかったではすまされない、南海トラフ地震、被害想定と備えは

一問一答方式

問 南海トラフ地震、津波の被害想定と備えは？ 想定されているのに「知らなかった」ではすまされない。「危機管理官」の配置を。

答 建物被害は全半壊900棟を超え、人的被害は800名超。上下水道含め復旧に長時間要する可能性あり。電力・通信

とあわせ、災害ごとの復旧復興計画を検討。長期避難に備え、設備の充実を図る。「危機管理官」は是非配置したい。

問 式根島における下水道事業は見直しを

一問一答方式

問 地震などのリスク、将来的な効果と負担を考えると、事業の見直しが必要。社会的・経済的條件、住民意識の変化がみられる。全体的な見直しを含め、法令に基づき「再評価委員会」での審議・再評価を求める。(再評価委員会は、審議の結果、事業の継続、変更、廃止などを判断する)

答 高齢化や人口減少、将来的負担等を考えると、見直しを視野に事業推進に取り組む。要望に基づ

く事業であり、処理場は必要だ。再評価委員会を開催し、住民意見を伺い下水道整備を進める。

問 切れ目のない継続的子育て支援を

一問一答方式

問 子育て支援として、負担軽減の重要性は明らか。学校給食費無償化は英断であり、敬意を表する。1〜2歳児、保護者の就労要件問わず入所できる、新島村版「だれでも保育」の早期実施が必要。式根島での未就園児「キッズスペースの確保」の要望に応えよ。学童クラブ・放課後子ども教室を確立し、放課後児童に安全・安心の居場所づくりを。当事者の話を聞き計画の具体化を。

答 新島村版「だれでも

保育」は早期実現を目指す。児童の居場所づくりは十分とは考えていない。今よりプラスになるものを考えていきたい。

問 早期に！式根島での眼科専門診療を

一問一答方式

問 6年度は実施の道筋がはつきりする年だ。医師確保の道筋を判断すべきた。高齢化が進み、船での移動はますます困難になる。一日も早い実現を。

答 年2〜3回、式根島での実施を考えている。高齢化率の高さからも、式根島での実施が必要だ。6年度機器購入の申請、7年度購入と併せ準備していく。

問 高齢者の元気で豊かな生活は共通の思いだ。「購入費に補助があれば助かるね」との声がある。東京都は、早期発見、早期対応を進めるため、啓もう・聴力検査・購入費助成に対する支援事業を明らかにした。新島村でも補助制度の確立を。

一問一答方式

答 補聴器の適切な使用は認知症予防に効果がある。東京都の要綱が制定され次第、今後の制度整備を検討する。



とみ た ひろ あき 富田 浩章 議員

一問一答方式

令和6年度施政方針の具体的な内容について

問 サーフィンに係るイベント内容と入り込み目標数は？

答 5年ぶりに東京都知事杯（選手・関係者を合わせて160名）と、サーフスケートフェスティバル（25名）。JPSA関連として、ツアー戦ではなく特別戦としてスパーヒート（40名）の開催を予定して

いる。

問 老人ホームについて「人材確保が実現されるように支援していく」と述べているが、具体的な計画・内容は？

答 人材不足解消のために「新島村地域人材確保総合支援事業」として外国人実習生の受け入れ経費の助成。また「新島村介護人材育成事業」として介護資格取得研修事業を通じて、将来的な雇用も含め、人材の底上げを図っていく。

問 限られた予算の中で公約を実現していくために、事業の見直し・中止、施設の閉鎖、あるいは新たな財源確保をするなど、財政の抜本的改革の構想はあるか？

答 現時点で、一義的な「事業の見直し・中止」

や「施設の閉鎖」は考えていない。抜本的改革ではなく、個別に検証し、適正かどうかを丁寧に検討していく。すぐに実現できるものばかりではないが、公約として掲げたものは、現在の、またこれから未来に向けて必要なものだと考えている。

一問一答方式

電気も使える

水洗式トイレの購入を！

問 私が東日本大震災支援に行った時に、最も困ったことはトイレである。

悪臭が凄く、衛生的ではなかった。能登半島地震のニュースでも深刻さが伝わったと思う。今、補助メニユーがあるうちに電気も使える衛生的な水洗式トイレの購入を！



▲ソーラーパネルを使用して発電。水洗については別タンクから取り、汚水は違うタンクへ。女性や高齢者にも清潔で優しいトイレは必要。

日本赤十字社東京支部から「自動ラップ式トイレ」を本村地区4台、若郷地区1台、式根島地区3台の計7台が配備されている。また6年度予算で非常用トイレセット3台を購入する予定。精査して良ければ、補助金を活用し、さらに複数台を、また水洗式トイレも合わせて検討していく。

一般質問



前田 勝利 議員



人口減少対策について

一括質問方式

問 当村の人口は1985

年3774人、2024年2453人、40年間で1321人(35%)減少し、この間の1年平均で33人減少している。特に令和2年から令和6年の1年間の平均減少は58人となっており、このままの状態では推移すれば新島村の人口は10年後に2000人を切り、行政施策に大きな影響を与える恐れがある。人口減少は経済・産業など、行政運営の隅

々までに大きな影響を与え、村そのものの存続が危ぶまれる。人口減少問題は、行政の最重要課題だと認識しているが、この問題に取り組む村長の決意は。

答

人口減少問題は、新島村のみならず全国的にも大きな問題となっており、自治体の存続さえも危ぶまれる危機的状況を迎えているといっても過言ではない。この問題の特効薬はなく、その対応に苦慮している。令和6年度に移住定住促進住宅4戸の整備、併せて空き家バンク事業および案内事業を連動させ、移住・定住者の総合的な支援を図る。保育環境の充実、給食の完全無償化に取り組みほか、令和7年度には新たな奨学金制度の創設を目指す。人口減少問題は、ただ外から人を連れてくればよいというもの



災害対策について

一括質問方式

問

村長は、災害を担当する「危機管理官」の配置を検討するとしているが、令和7年度の組織の改革に合わせて行うという認識でよいのか。

東京都は緊急時に迅速かつ一貫して対処するため、専管組織を設置し、危機管理体制の確立に努めているが、危機管理監は自衛隊出身者が務めていると伺っている。現時点で村の危機管理官の配置および役割をどのように考えているのか。

答

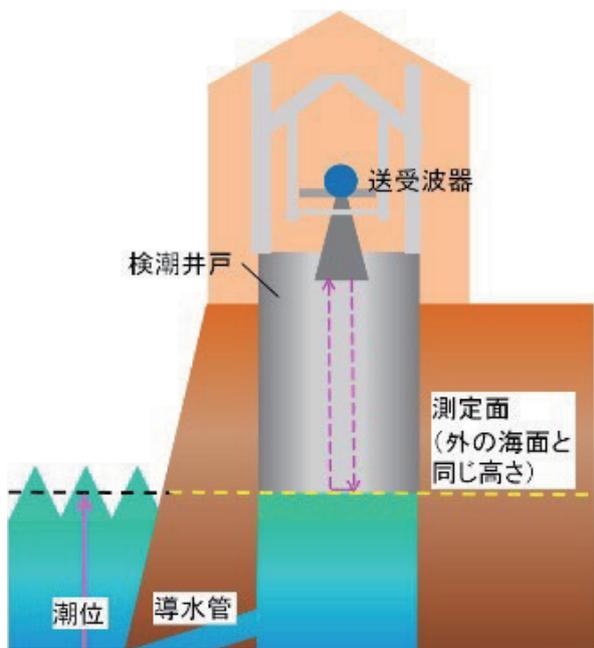
今まで十数年も検討で終わっていた組織改革を、

令和6年度に本格的に着手したいと考えている。その改革の中で、防災担当の位置づけを今まで以上に明確にするともに、できれば専門職員を配置したいと考えている。23区および大きな市と異なり、専門部署の配置は人員確保の観点から大変だが、今後起こりうる自然災害、特に津波災害への対応を強化していきたい。

問 津波があつたときに新島・式根島は表示されないのか、津波の高さを測る験潮儀の設置を国や都に要望してほしいが。

答

村で設置することもできるが、験潮儀は気象庁と連動していないと意味がない。防災会議で東京都に依頼している。



▲験潮儀……海面の昇降を測定。気象庁、国土地理院、海上保安庁などが港に設置。(気象庁HPより)

『しまづくり』につながる『人づくり』と 議会からもできる『人づくり』

季刊『しま』をご存じですか？
最新の277号から、当村も関わった二つの
人材育成の話題と、当議会の話題をお伝えします。
発行する公益財団法人日本離島センターは、
毎年池袋サンシャインシティで開催される
『アイランダー』も主催しています。



▲村内の公共施設で冊子を閲覧可能です。
ウェブでも一部記事が無料閲覧できます！

当村出身の大学生が、全国離
島の高校生の学びを支える！

最新号では、新島村出身の大学生（当時）が実行委員長を務めた『アイランダー高校生サミット』のレポートが掲載されています。全国の離島の高校生をオンラインで結び、島が持つ可能性や交流の意義・価値などを議論し、島の活性化策などについてアイデアを出し合い、参加者間の絆を創出することを目指しているものです。

同センターの人材研修への
参加費補助が！

同じく将来の島づくり人材を育成すべく、『島づくり人材養成大学』のレポートも記載されています。

私も過去に参加した経験から、民間人材も受講しやすいように参加費（出張旅費）の補助を議会の

場で要望してきましたが、今年度予算で実現しておりました。昨年度の当村からの役場1名、民間1名の計2名の参加が有意義であったのか、進展してなによりです。

当議会も地域での
学びに参入します！

当議会でも3年前から、議会体験や児童・生徒との交流を進めてきましたが、全国町村議長の会の主催者教育事例集に掲載される運びとなりました。

私は取り組みに際して、一方的に教える”教育”ではなく、双方向・地域全体の学びとして捉えています。

島全体で育んだ学びの環境が地域の魅力そのものとなり、島留学の誘致、出身学生が戻ってくるUターン、仕事・子育て環境を期待し移住するIターンなどにつながるように、今後も議会の活動を進めていきたいと思っております。議会への皆さまの来場をお待ちしております！



▲新島小学校6年生による議会訪問&議員との交流時の集合写真(令和5年度)

議長として考える議員/議会活動と地域教育

- 1 議会を通じて学びを深めてもらいたい
(議場などを発表の場としてもらう)
- 2 議員/議会だよりの情報や問題意識を最新の地域課題として共有したい
- 3 児童/生徒との交流を経て、議員としても初心や活動の意義を振り返るきっかけになる
- 4 議員の『課題把握・調査・まとめ・質問(発表)』を探究学習の参考にしてほしい！

令和6年第1回 3月予算 特別委員会

契約関係

式根島憩いの家プラットフォーム整備工事費の内容は？

概要…老朽化した「式根島憩いの家」の改修工事に伴う工事費約1億9千万円（建築1億1千万円、設備約8千万円）の請負契約締結について説明があった。

問 工事期間やサウナ・露天風呂・手すりの設置等があるか？ 内容について説明を求める。

答 工事期間は令和6年3月から7年2月までの約1年、浴室の拡張が主で従来の2倍弱程度、未利用だった空間を有効活用し、全体的に広く使えるようになる設計である。また、手すりは設置するがサウナ、露天風呂は湯量や予算、働き手の確保等の問題上、設置できなかつた。

GovTechTokyoの進捗状況は？

概要…都市区町村が連携したデジタル化を推進する目的の団体GovTechTokyo（ガバテックトーキョー）が設立され、新島村も加入にあたり負担金15万円が計上されている。

問 今後の活用計画について現時点での進捗や行政内の課題は？

答 今年度もウェブサイトの検証などを行っていた。DX全体のマネージメントのできる担当が必要。具体的な内容は調整中だが、先進事例を参考に進めていきたい。

新島村地方人口ビジョンおよび地方版総合戦略事業について今後の期待は？

概要…新島の移住促進や関係人口増加等を目的とした事業であり、今期約400万円の予算が計上されている。

問 今回の更新の目玉は？

答 内容は検討中だが、大枠としてデジタル化を計画している。

空き家対策予算の内訳は？

概要…新島村の空き家対策

策事業費約3200万円のうち、委託料として約2900万円が計上されている。

問 委託料の内容と進捗状況は？

答 主に実態調査の委託料で、今期は実態調査の実施と計画の策定を予定している。

衛生費

出産に係わる交通費助成について、男性には適用できないか？

概要…住民の出産に係る負担を軽減する目的のため、今期予算として「出産に係る交通費助成金298万円」「里帰り等妊婦健診費助成金約52万円」が計上されている。

問 出産・健診の立会や帰

島にあたっての出迎えなど、出生支援の観点から男性も含めた援助はできないか？

答 出産時の男性の交通費助成としては用意していないが、多胎児で二人同時に健診に行く場合、両親分の交通費を助成するように今年度規則を見直している。

農林水産業費

有害鳥獣防除事業の見直しは？

概要…長期にわたって鹿駆除を主に有害鳥獣防除事業を実施しており、今期予算として約4000万円が計上されている。

問 長年鹿の駆除を実施しているが、未だ駆逐には至っておらず、また従事者の高齢化に伴い慢性的な人

手不足でもあると聞いている。今後は事業の大幅な見直しが必要では？

答 対象個体数が減っていくほど駆除が難しくなり、生息地も山奥に移動し作業も厳しくなっている。今期は従事者・専門家を交えて検討し、方向性を定めていきたい。

農業用水施設DX化推進事業の内容は？

概要…たびたび断水等のトラブルが起こっている農業用水施設を、DX化により監視するための予算約750万円が計上されている。

問 DX化の想定は？ポンプ稼働率と連動した遠隔・自動散水等は検討しているか？

答 農業用水の流量や水圧をモニターで随時監視し、漏水・断水等に即対応するためのDX化であり、水やり等は計画していないが、ふれあい農園の遠隔散水のノウハウも教えることはできる。

商工費

コーガ石事業の計画内容は？

概要…今期コーガ石事業費として約340万円が計上されている。

問 コーガ石の建物が文化遺産となったこともあり、コーガ石の利用に対して何かしらのアクションを起こすべきでは？

答 新島の景観についての取り組み等を参考に、他部署と連携してガイドラインの作成等を考えたい。

コーガ石建造物の保存に努めたい。

観光案内窓口事業費の内容と今後の計画は？

概要…新島・式根島における観光窓口業務費として約2190万円が計上されている。式根島においては式根島観光協会に委託されているが、新島においては昨年からの観光案内所として地域おこし協力隊が主に運営している。

問 新島・式根島の業務内容と今後の新島の観光案内所の運営は？

答 式根島はツアー案内業務を行っているが、新島は行っておらず、会員サービスが主な業務ではない。地域おこし協力隊の任期は3年であり、そ

の後の運営方法はまだ決まっていないが、業務内容を集約し今後の方針を検討していきたい。

連絡船事業

にしき代船を購入し今後の運用計画等は？

概要…連絡船にしきの定期検査時等の代替船として、およそ18トン・定員40人のFRP小型船舶を約4500万円で購入した。

問 代船を購入のメリット・デメリットおよび今後の運用計画は？

答 運用計画については今期運航データの収集に努め、費用対効果や有効活用の可能性を検討していく。

◇メリット◇

・定期検査時に乗員数を含め問題なく運営ができ、通常の乗船料が徴収できる。

・燃料消費量は「にしき」の半分程度となる。また冬季など比較的乗船数が少ない時期は「代船」を通常運行することで燃料費が節約できる。

・チャーター船の利用が定期航路の運行時間に縛られず利用でき、その際の燃料費も節約できる。

◆デメリット◆

・2隻の船舶を所有することにより、維持・管理・運営費が増大する。

・船舶の係留場所の確保、や、保管時揚場の確保、今後漁業者等と話し合いが必要。

広報委員が地域の皆さんに
インタビュー!

神楽で地域繁栄を祈る若郷のヤカミ衆に お話を伺いました。(取材・前田勝利)

ヤカミ衆とは、神楽かぐらに携わる老女たちをそう呼んでいます。ヤカミ衆は、

神社などで神歌をうたい、若郷地域の繁栄をひたすら祈りを捧げるのが仕事です。5年ほど前までは行われていたのですが、現在は見ることはありません。ヤカミ衆の方にいろいろたずねてみました。

前田／何歳からヤカミ衆に入りましたか？

ヤカミ衆／65歳のときに入りました。歌が好きだったので、入る5年ほど前から、先輩の元ヤカミ衆の家に通い、歌を教えてもらいましたが、難しく覚えて苦勞しました。

前田／誰に頼まれてヤカミ衆に入ったのですか？

ヤカミ衆／若郷の神社の役員に頼まれて入りましたが、先輩のヤカミ衆から頼まれて入った人もいます。私は同級生3人と入りました。昔は65歳になる前から入っていたようで、多くの女性が入っていました。だいたい80歳でヤカミ衆から抜けていたようです。

前田／神楽はどのくらい時間がかかるのですか？

ヤカミ衆／時と場所によって違い、2時間以上かかる時もありました。

前田／博物館ではヤカミ衆の活動記録を映像で後世に残そうとしていますね。

ヤカミ衆／映像の保存には、10名の方々が協力してくれています。集まった全員で相談し、今なら、まだ残せると思いました。



▲正装して神歌をうたい、若郷の繁栄を祈るヤカミ衆の皆さん
(前田テウ、前田タン、前田榮子、前田トヨ子、前田芳枝、岩切都志江、富田フミ子、磯部成子、梅田志津子、磯部せつ子)

＜新島の神楽とヤカミ衆＞

昭和33年に東京都の無形民俗文化財に指定された神楽。昨年11月に新島の「大踊」がユネスコ無形文化遺産に登録され注目を集めています。こうした芸能は地域の人々が担い手となっているため、担い手の確保が大変で、保存継承が難しくなっています。

令和6年第1回定例会が開催されました。大沼弘一村長の施政方針を聞き、行政運営(住民に寄り添った)に期待するところで。一般質問に立った議員たちも、各々の視点から住みよい島づくりのために質問をしていました。

1年の海難修繕工事が終了して、連絡船にしきが戻って来ました。代船も新たに購入して、新島・式根島間の移動も今まで以上に安心して利用できるところでしょう。代船も今までみたいに検査の時だけに使うのではなく、いろいろな使い道を考えてくれることを期待しています。連絡船にしきも戻ってきたので、去年以上、コロナ前以上に観光客が増えてくれることに期待したいと思います。

前田 卓秀